

# 1 ベテラン職人が仕事を通じて、いきいきと働くために

## 1 高い技術・技能、豊富な経験を活用する

ベテランならではの技を若い世代へ伝え、経験を活かせる役割を担ってもらいましょう。

### 1 若手社員に技術・技能を伝える

- 経験豊富な職人には、自身が持つ高い技術・技能や職人としての自覚・心構えなど、若手社員の育成の役割を担ってもらいましょう。

「技術は見て覚える、盗んで覚える」というのは昔の話です。造園の技術・技能を後世に伝える意義のある仕事として、高い志と強い気概を持ってもらうことが大切です。

- 教えることが苦手な職人には、昨今の若手気質を踏まえ辛抱強く指導することを理解してもらいましょう。

また、若手社員にも、あらかじめ指導を受ける際の心構えを伝えておきましょう。



### 2 現場管理者として働く

- 年齢が上がると現場管理や職人の手配、仕事の仕切りなど、管理者としてマネジメントに従事するケースが増えてきます。

工事を円滑に進めるためには施工管理とあわせて、お客様や近隣住民との対応も重要です。年少者よりも経験豊富なベテランの方がふさわしい役割といえます。

- 現場管理では、職人の組み合わせや職人のレベルを調整する必要があります。職人同士の相性などの問題もあり、現場管理者への抜擢には、個々の職人の適性を見極めることも必要です。

- ベテラン職人の新たな役割には以下のようなものがあります。

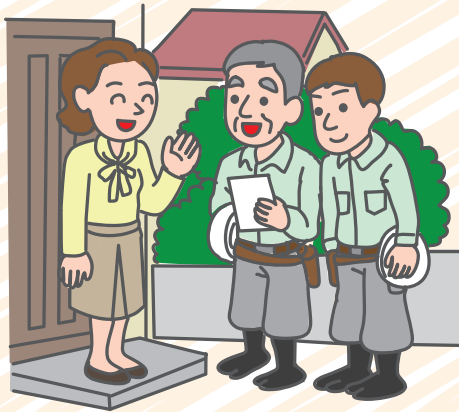
- 若手社員に技術・技能を伝える
- 現場管理者として働く

## ベテラン職人は造園技術・技能の伝承、 教育・指導する立場に

当社では、年齢が上がっても仕事の内容は変わらないが、高齢者の意識を変えることを目的に65歳定年制をとっている。

ベテラン職人は得意先を巡回し、庭や木の状況を見ながら作業に着手する順番を考えるなど、知識・経験が必要な仕事を担当。こうした仕事を若年者に引き継いでいくために、定年を契機に、造園技術・技能の伝承、教育・指導する立場に変わるように促している。

また、ベテランの技術・技能を伝えるために、できる限りベテランと若手を組み合わせて仕事にあたらせている。



職人の組み合わせは、勤続35年の維持管理部長が調整。万が一、自社の職人だけでは調整がつかない場合は、外部から職人を呼ぶこともあり、職人同士の組み合わせには苦慮している。こうした経験とノウハウも、若手社員に伝えていく必要性を感じている。

## 2 若いうちに高い技術・技能を身につけておく

若いうちから技術・技能の修得に努めることが、高齢になってもいきいきと働ける秘訣です。

### 1 造園技術・技能の国家資格を取得する

- 高齢になってもいきいきと働いてもらうためには、お客様に喜んでもらえる造園技術をしっかり身に付けておくことが重要です。
- 若いうちから造園技能士や登録造園基幹技能者、造園施工管理技士、土木施工管理技士などの各種資格の取得を促しましょう。



## 2 職人の努力を支援する

- 事業主は、職人の資格取得を支援するための勉強会や、資格取得者への手当など、一人ひとりの能力の向上を促す環境づくりに努めることも大切です。

### 登録造園基幹技能者とは

(社)日本造園組合連合会と(社)日本造園建設業協会が共同で運営委員会を組織し、平成10年度に「造園基幹技能者」認定制度が発足しました。

多くの工種に精通した幅広い知識、経験、技能、美的センス、施工現場の総合的な管理能力を持つ造園技能者が、「造園基幹技能者」として認定されます。

平成20年4月からは、建設業法施行規則の改正により、造園基幹技能者をはじめ専門工事業27職種が行う基幹技能者制度は、登録講習制度として位置付けられています。

#### ●登録基幹技能者の役割

##### 1. 現場の施工を円滑に行うため技術者と技能者間の連絡・調整・提案

- リーダーシップの発揮、率先垂範、人を育成
- 現場の状況に応じた施工方法の提案
- 作業を効率的に行うための技能者の適切な配置、作業方法、作業手順等の実行

##### 2. 熟練技能者であること

- 技能者を発揮・管理する十分な、作業能力者であること
- 出来上がりの点検、工事の是正ができること
- OJTを行う能力があること
- 作業の管理が得意であること

##### 3. 技術の進歩に的確に対応できる知識の習得と柔な思考

- 技能者の示す施工計画等から、現場に適した技術面から施工方法、作業手順、工夫等の提案能力があること

出典：日本造園組合連合会ホームページ



ポイント  
ヒアリング結果から

## 取引先の工務店が主催する 勉強会や研修に参加

教育訓練の一環として、顧客満足度が高いことで評判の工務店の勉強会や研修に参加。現場周辺への挨拶や気配り、現場での整理整頓、職人のマナーなど、対顧客ノウハウを吸収することで、現場での評価の向上と将来的な営業につながると考えている。

特に個人宅が顧客に多い当社では、作業の始まりと終わり、周辺住宅への挨拶や気配りが次の仕事につながる営業活動であることから、従業員に対する教育は重要であると考えている。



ポイント  
ヒアリング結果から

## ゼネコンの現場での仕事が刺激に

ゼネコンの工程管理や安全などの面で勉強になることが多く、他の業種の人たちの仕事ぶりなども大きな刺激となっている。

また、正社員については、職人として現場での日々の研さんを積みながら、将来的には営業や管理、さらには経営全般まで担って欲しいと考えている。

ポイント  
ヒアリング結果から

## 資格取得を奨励

すでに造園技能士2級を取得し、さらに1級を目指している社員もおり、造園施工管理技士の取得も会社として奨励している。資格取得のための講習は出勤扱いとし実費を支給。合格者には資格手当を支給している。

資格は個人が保有するものであるが、会社のメリットも多く、社員全員に取得して欲しいと考えている。